

つながる



平成 24 年 5 月 21 日 No. 13

十日町市教育委員会学校教育課



継 続 の 鍵

学校教育課小中一貫教育推進係
嘱託指導主事 平野久美

ぶなの芽が萌え、花々が一斉に咲き始めました。豪雪の中、この時期を待ち焦がれていた方も多かったのではないのでしょうか。小学校では、運動会を控え、子どもたちがグラウンドで駆け回っている時期でもありましょう。田や畑での仕事も始まり、妻有の地に躍動の春の到来です。

うららかな季節に誘われ、私ごとで恐縮ですが、最近体力づくりのために工夫していることがあります。今までは自宅から勤務先まで車で通勤していたのですが、最近は事情が許す限り、勤務地の2kmほど手前に車を置き、その間を歩くようにしています。6km以上の全行程を歩く自信はないのですが、2kmくらいは何とかやれるかなという気持ちからです。歩いてみると、信濃川周辺の景色、遠く越後三山に連なる山々の雄姿、各家庭の庭の草花等々、日々移りゆく様子を目にする楽しみが付録として付け加わりました。自転車登校する高校生からの朝のさわやかな挨拶、ひっそりとたたずむ石仏の前にさりげなく供えられた季節の花。十日町っていい所だと感じる瞬間でもあります。

こんな気まぐれな取組ではないのですが、発想が似た素晴らしい取組を、地域ぐるみで行っていた事例を思い出します。それまでかなりの距離歩いて登下校していた子どもたちは、統廃合等の関係でスクールバス通学をすることになったそうです。ある程度の距離を毎日歩くことは、子どもの体力・気力・仲間づくりのために欠かせないという判断のもと、スクールバスに乗るのは集落から学校までではなく、歩く行程を確保するという方法をとったのです。この、学校と保護者・地域の知恵と英断に驚かされたものです。

さて、先日市内のある学校だよりに「たくましさやかかわる力の向上を願って」という副題で車による児童の送迎についての記事を目にしました。「登校班内で互いに注意し合い登校する子、学校教育目標の一端でもある『たくましい子』を目指して、歩いて登校する子にしたいものです。可能な限り車での送迎はご遠慮ください。」と、保護者の安易な車での送迎を戒めていました。また、スキー授業で使用するスキーは親が運ぶのではなく自分で持ち運びをするように子どもに指導したり保護者に協力を求めたりしている学校があることを訪問で知りました。これらは「たくましさやかかわる力の向上」を目指した工夫ある取組です。今までの取組を視点を変えて少し工夫することで、かなりの効果が期待できましょう。

小さなことであっても、毎日のように継続して行うことが大きな力となることは様々な教育活動で実証済みです。しかし、継続して物事に取り組むにはかなりのエネルギーが要求されます。取組内容の確かな共通理解（納得）と重点化が、長くみんなで続けることができる鍵を握ると思います。子どもの実態に即して、どんなことが必要か、互いにアイディアが飛び交う学校・中学校区の実現を楽しみにしています。

※本年度も 75 名という大勢の教職員が他市町村から転入されました。十日町市の小中一貫教育の取組について、感想をお聞きしました。



十日町市に赴任して「小中一貫教育」こう考えます！	
十日町小学校 今成 榮一（校長） 	中条中学校 山崎 智史（教頭） 
中学校区の小中連携教育のかけ声は以前からありましたが、その取組は掛け声が先行しがちでした。 小中学校の9か年という長いスパンの中で、効果的な学習指導、社会性の育成を図るという観点から、小中一貫教育の取組は、大きな意義をもちます。 見かけ倒しとならないよう、実効ある取組にしなければなりません。 中学校区での効果的取組を具体化するためには、課題の洗い出しや身に付けさせたい力等についての協議や共通理解の場の確保は不可欠です。思いを具体化する行動連携へと高め、実のある一貫教育を目指したいものです。	私は、これまで極小規模校に勤めていました。近くにある小学校と交流する機会が多く、特に文化祭は、小・中・地域合同で例年実施していました。そのため自然に小中一貫教育が行われていたわけです。しかし、それほど密接な小中学校でしたが、やはり様々な問題はありました。 その経験から、十日町市の小中一貫教育を考えると、多くのハードルを越えていかなければならないことを強く感じます。しかし、不登校児童生徒の減少を目指そうとする市教育の方針を思うとき、やらねばならないと強く感じております
貝野小学校 宮園 健吾（教諭） 	水沢小学校 前田 恵子（教諭） 
4月から貝野小学校でお世話になっております。十日町市では、9年間を見通した小中一貫教育を推進しており、子どもたちにとってよりよい学びや活動の環境が整えられていると感じました。十日町市全体でもそうですが、中里中学校区の大きな課題が、学力の向上と不登校の解決。「やりたい。」「できるようにになりたい。」「学校に行きたい。」などの意欲を高めることが大切なのではないかと感じました。子どもたちの意欲を高めることができるよう、保・小・中、また保護者や地域とも連携して頑張りたいと思います。	「つながる」という言葉の重みを毎日実感しています。十日町市に転入し、約1か月が過ぎました。子どもたち同士の絆、地域の方々の優しく心強い励まし、そして、小中学校の太い連携。毎日の教育活動の中で、自分自身もそのつながりの中で生かされていることを子どもたちから教えられています。 「ふるさとを愛する」ということは自分自身を大切することだと考えています。そして、そのためにはまず自分が大切にされていると実感できる環境と体験の積み重ねが重要だと思います。目の前の子どもたちが、毎日それを実感できるよう、小中一貫教育の基盤作りに力を尽くしたいと思っています。

一人一人が実施計画の 理解を！！

本年度の「十日町市小中一貫教育実施計画」を4月27日に掲示板に掲載しました。試行2年目の今年は、全市の中学校区で推進会議を立ち上げ、各校が小中一貫教育コーディネーターを決めて取り組みます。本格実施の平成26年度を見据えて、より計画的に取り組むために、実施計画を各人がしっかり読んで理解を深めてください。一人一人の理解から、大きな力が生まれます。

十日町市小中一貫教育連絡協議会委員 が一部 交代しました！

連絡協議会の委員が、異動に伴って一部交代しました。新しい委員は残任1年間の任期となります。◇印が本年度からの委員です。本年度も、年3回の会議を通して、小中一貫教育を推進する上での課題解決に向けた協議や、中学校区間の情報交換等を行っていただきます。

＜委員名簿＞ ＜任期：平成23年6月22日から平成25年3月31日まで＞

区 分	氏 名	所 属 職 名 等 (備考)
学識経験者	松 沢 要 一	上越教育大学大学院学校教育研究科准教授 (川治)
十日町市立小・中学校の教職員	池 田 一 三 ◇	奴奈川小学校長 (松代中学校区)
	戸 田 祐 子	中条中学校長 (中条中学校区)
	水 落 純 子	下条中学校長 (下条中学校区)
	保 坂 吉 俊	川西中学校長 (川西中学校区)
	武 田 篤 ◇	倉俣小学校教頭 (中里中学校区)
	富 井 茂 ◇	松之山小学校教頭 (松之山中学校区)
	喜 多 孝 行 ◇	南中学校教頭 (南中学校区)
	岩 澤 勝	十日町小学校教諭 (十日町中学校区)
	小 泉 互 ◇	吉田小学校教諭 (吉田中学校区)
保護者の代表	大 平 弥 生	水沢小学校養護教諭 (水沢中学校区)
	小 泉 等	十日町市PTA連合会副会長 (下条小学校PTA会長)
地域住民の代表	篠 原 裕 子	十日町市PTA連合会副会長 (十日町中学校PTA副会長)
	西 野 和 之	元十日町市小中一貫教育の在り方検討委員 (駅通り)
	池 田 清 子	元十日町市小中一貫教育の在り方検討委員 (田野倉)
	高 橋 玲 子	元十日町市小中一貫教育の在り方検討委員 (天水島)
	山 本 直 美	東小学校区内保育所代表 (大井田保育園長)

多忙化改善検討委員会 こんな改善が！

本年2月から、「十日町市教職員多忙化改善検討委員会」を組織し、多忙化の改善のために検討を進めていました。その改善の第一弾が、4月26日の定例教育委員会で決定しました。

今回は「十日町市立小学校及び中学校管理運営に関する規則」の一部改正です。その概要は、学校長が教育委員会に提出する文書の廃止や簡素化で、文書の廃止が2件、様式の発番・押印の削除が27件などです。廃止文書は、＜「」学期児童生徒出席状況報告書＞、＜ 職員の海外旅行について (報告) ＞です。

本年度も田沢小学校の渡邊校長先生を委員長に17名のメンバーで更なる改善を進めます。ご期待ください。

モデル中学校区のご覧いただける取組を本年度も毎月紹介します。都合がございましたら、当該校に事前に連絡し、ぜひ参観してみてください。



モデル中学校区6月の活動予定



日時	＜内容＞	会 場	見 どころ
5 日 (火) 9:45 ～ 12:00 22 日 (金) 10:30 ～ 12:00 ＜なかよし集会②③＞		千手小 体育館 橘小 体育館	・6 月 14、15 日の佐渡への合同修学旅行にかかわって、中学校区の全小学 6 年生が一堂に会して交流します。1 回目は 5 月に終了し、計 3 回の交流です。そのための実行委員会も 4 回も行っています。
8 日 (金) ＜推進会議＞ 14:00 ～ 15:50		下条小学校	・下条中学校区では、学校職員のほか保護者・地域の方々もメンバーになっています。本地区の小中一貫教育の在り様について熱く語り合います。
11 日 (月) ＜合同企画部会＞ 9:30 ～ 11:00		下条中学校	・以下について合同企画部会を行います。 ①小学校運動会、ジャンボ若葉班活動の評価についての共通理解 ②中学校教師が小学 6 年生に授業を行う計画についての検討 ③小中一貫教育だよりの校正作業
11 日 (月) ～ 15 日 (金) ＜あいさつ運動週間＞ 7:45 ～ 8:05		①下条中学校前 信号付近 ②下条小学校前 信号付近	・縦割り班ごとに日を割り振り、左記の場所であいさつ運動を展開します。
12 日 (火) ＜乗り入れ授業＞ 13:30 ～ 14:20 5 年 (音楽) 6 年 (算数) 14:25 ～ 15:15 5 年 (外国語活動) 6 年 (体育)		松代中学校 音楽室 視聴覚室 視聴覚室 体育館	・今回は、音楽と体育を中学校職員が、算数と外国語活動を小学校の職員が担当します。 ・6 限の外国語活動、体育の学習の後は、部活動の体験もします。
13 日 (水) ＜ジャンボ若葉班活動＞ 13:30 ～ 15:00		下条小学校 下条中学校 下条公民館	・本年度最初の小中一貫の縦割り班活動です。調理・実験工作・ゲーム等、児童生徒がかかわり合いを深めながら主体的に活動に取り組みます。 ・一人一人の振り返りカードをもとに自己評価する時間も終末にあります。
15 日 (金) ＜中学校区研修会＞ 13:30 ～ 16:30		千手中央コミュニ ティセンター 千年の森ホール	・中学校区職員による研修会です。伊佐貢一先生を講師に「9 年間を見通した生徒指導とソーシャルスキル教育について」という内容で行います。

